

令和7年度すくわくプログラム活動報告

江戸川区 小松川第三保育園

テーマ「 自然 」



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

保育園の周りには千本桜が綺麗に咲き、土手や公園の緑も多く、自然のある環境です。園庭側には樹木や花壇・畑がないものの、春には小さな昆虫を見つけ、お世話や観察をして生命の尊さを感じています。子ども達一人ひとりが主体的に自然に関わり、年齢なりに見たり、聞いたり、感じたり、考えることのできる機会を増やせるようにと願いを込めて“自然”をテーマに選びました。



【空には沢山のものがあるよ】

天気の良い日に園庭にマットを敷き寝転びながら、みんなで空を眺めることに…。
「鳥がいた!」「飛行機が見えない…」等々の声。雲を見ていた子からは「ごはんみたい」「キャベツみたい」と気づいたようで嬉しそうに話しています。雲の形だけではなく、風の気持ち良さや雲の流れの速さにも気づいていました。

【お花の実験】

光の実験テーブルで様々なものを見ると普段は気にしないような細かいところを見つけることができました。葉からは細かい脈を見つけることができたので、白いカーネーションを紅い食紅で作った色水で色付け実験。食紅の濃さが違う3種類の色水を作り、どこから色が付くのか?色の濃さはどうなのか?を数日かけて観察。花の変化に驚きました!



【みんなでビックリ!!】

散歩に出掛けた5歳児、コオロギやミミズ・テントウ虫、葉っぱを持ち帰り、ミエルモン(拡大書画カメラ)で観察してみました。なんと!コオロギが前足でミミズを押さえながら食べている様子が!!驚きの場面でしたが、「今度はアリの足は何本か見てみたい」と次への好奇心に繋がったようです。



まとめ

今回『自然』をテーマにしてきました。保育園の中には樹木や花壇、畑がない環境ですが、身の周りには沢山の自然があることを活かしてきました。その中で小さな“きっかけ”をすることで、子どもたちは「試してみよう」「見てみよう」「触れてみよう」という気持ちが盛り上がり楽しんでいました。一人で見たもの、試したものを友達や保育士と共有することでまた違った遊びへの発展や意欲に繋がっているようでした。今後も身近にある自然の中、自由な発想で遊びを楽しんでいきたいです。